

平成30年(2018)3月23日

出雲市長 長岡 秀人 様

出雲市議会
議 長 福代 秀洋
出雲市議会行財政改革特別委員会
委員長 宮本 享
出雲市議会総務委員会
委員長 板倉 明弘

支所機能のあり方に関する提言書

平成26年度に策定された出雲市行財政改革大綱においては、行財政改革の重要な柱の一つに「組織・機構の改編」が掲げられ、時代に即応し、簡素で効率的・機能的な組織機構を目指し、本庁・支所ともに継続的に見直しを行うこととされています。

また、老朽化が著しく、早急な対応が求められている支所庁舎の移転等を検討する上でも、施設の規模、機能等の判断をするためには、将来における支所機能のあり方の検討が重要課題であると認識しているところであります。

こうした中、市議会としましては、行財政改革特別委員会及び総務委員会において、執行部の支所機能のあり方に関する検討状況やそれに対する地域からの意見について報告を受け、支所機能のあり方を検討するうえで留意すべき事項をまとめましたので、以下のとおり提言します。

なお、執行部におかれては、本提言を十分に参酌しながら、慎重・丁寧に、かつスピード感をもって対応していただくようお願いします。

1. 支所機能のあり方検討における基本的な考え方について

支所機能のあり方について、支所の廃止や再編、コミュニティセンターとの機能統合など選択肢として議論はあったが、本市における支所の現状を踏まえると、現段階においては、「現在の6つの支所を（仮称）行政サービスセンターとして、従来どおり旧市町の6区域に、配置する」ということについては、妥当と判断する。

2. 今後の検討にあたっての意見

①（仮称）行政サービスセンターの機能及び職員体制について

（仮称）行政サービスセンターの機能としては、窓口業務のほか、様々な地域特性や地域事情を踏まえ、災害時における防災拠点としての役割や地域情報の収集、地域活動への支援も必要であり、本庁体制も含め、十分に考慮した職員体制とすること。

② 更なる行財政改革の取組について

今後、時代に応じた行政サービスの地域拠点のあり方について、全市的な見地で検証を続けられ、コミュニティセンターとの関わり方及びコミュニティセンターの体制・機能の強化も含めて、幅広い議論を行うこと。

③ 地域住民への丁寧な説明について

この度の見直しは、（仮称）行政サービスセンターを従来どおり旧市町の6区域に配置したうえで、組織・業務の更なる効率化を図る見直しであることに留意し、不安や誤解が生じないように、地域に対して丁寧に説明し進めていくこと。